

**若葉区・緑区の鹿島川流域において中型獣の集中捕獲を実施します
～モデル地区を設定し、地域ぐるみで農作物の被害軽減を図ります～**

千葉市では、アライグマ、ハクビシン等中型獣の定着を防ぎ、農作物の被害軽減を図るため、若葉区下田町他周辺4町と、緑区下大和田町他周辺3町をモデル地区に設定し、令和6年度中型獣集中捕獲を実施しますので、お知らせします。

1 経緯

本市の令和4年度の有害鳥獣被害額は1,177万円で、そのうちアライグマ、ハクビシン等の中型獣による被害額は725万円と約62%を占めています。

令和5年度以降も被害が続いていることから、昨年度実施した若葉区に加え、新たに緑区の鹿島川流域にモデル地区を設定し、専門知識を有する農作物野生鳥獣被害対策アドバイザーの協力の下、モデル事業として中型獣の集中捕獲等を行うこととしました。

2 概要

(1) 実施主体等

ア 実施主体

千葉市鳥獣被害防止対策協議会

(構成 J A千葉みらい、千葉市猟友会、千葉市等)

イ 協力先

合同会社AMAC (エーマック)

(2) 実施場所・期間 (予定)

ア 若葉区旦谷町、谷当町、下田町、下泉町、大井戸町

6月15日(土)～9月15日(日)

イ 若葉区中野町、緑区下大和田町、上大和田町、土気町

8月20日(火)～11月20日(水)

(3) 実施規模

両地区とも箱わなを50台設置

(4) その他

捕獲に当たっては、モデル地区内の農業従事者にもわなの見回りや捕獲された際の連絡等を依頼し、地域と一体となって捕獲作業を行います。

安全のため、合同会社AMAC・千葉市猟友会・地区内の農業従事者によるわなの見回りを実施します。わなを見かけても触らないでください。



箱わなの例

3 今後の方向性

本取り組みの成果は、被害報告のある他地区における捕獲でも活用し、農作物被害の軽減に努めます。